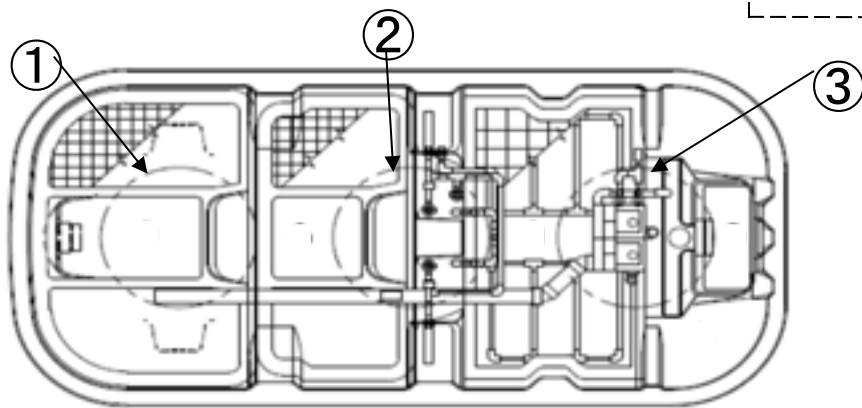
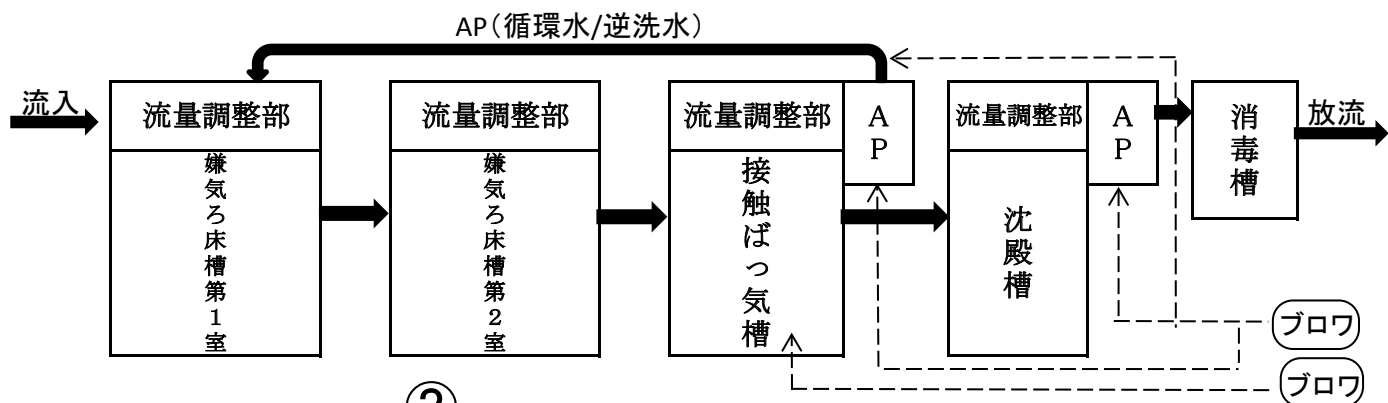


KGX (株)ハマネツ
 OEM: なし
 共同開発: GPN 日本ゼオン(株)
 処理方式: 流量調整型嫌気ろ床接触ばっ気循環方式
 5・7・10人槽

窒素除去型

全浄協登録値

BOD	SS	T-N
20mg/L以下	—	20mg/L以下
性能評定または性能評価値		
BOD	SS	T-N
10mg/L以下	—	10mg/L以下



①嫌気ろ床槽第1室

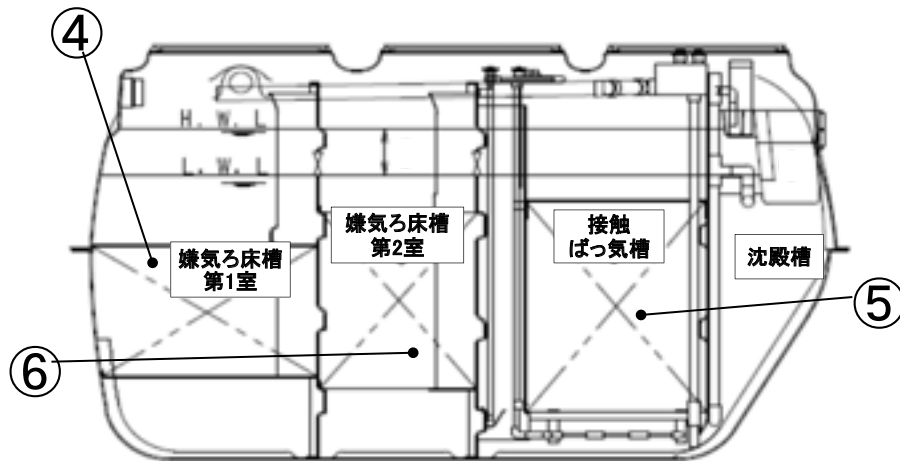
②嫌気ろ床第2室

③接触ばっ気槽

④嫌気ろ床槽第1室ろ材

⑤接触材

⑥嫌気ろ床槽第2室ろ材



有効容量 (m³)		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	嫌気ろ床槽第1室(L. W. L)	0.709	1.150	1.728
	嫌気ろ床槽第2室(L. W. L)	0.584	0.873	1.380
	接触ばっ気槽(L. W. L)	0.868	1.252	1.733
	沈殿槽(L. W. L)	0.324	0.411	0.624
	〈流量調整部〉	0.414	0.596	0.872
	消毒槽		0.022	
	合計	2.921	4.304	6.359

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	第1室	350
	第2室	300

流量調整装置	流量調整移送バルブ目盛(%)	流量調整せき	循環装置	循環装置バルブ目盛(%)			循環調整せき	逆洗装置	逆洗バルブ	散気バルブ
				5人	7人	10人				
有	40	有	有	40			有	有	全開	全開

人槽	ブロウ1風量(ℓ/分)	ブロウ2風量(ℓ/分)	逆洗風量(ℓ/分)	逆洗時間(分)	逆洗時刻	逆洗回数(回)	逆洗周期
5	60	30	60	5	0:00 (土曜日)	1	1週間
7	80	30	80				
10	120	30	120				

[人槽に対する流調・循環水量の設定範囲]

人槽			5	7	10
流調	放流用定量移送装置水量(ℓ/分)	H.W.L	0.90	1.17	1.58
		M.W.L	0.69	0.97	1.39
		L.W.L	0.29	0.55	0.92
循環	循環用移送水量(ℓ/分)	H.W.L	2.97	4.19	6.04
		M.W.L	2.78	3.89	5.56
		L.W.L	2.14	3.06	4.40

・流量調整移送水量・循環移送水量は、(1)使用水量(日平均汚水量) (2)実使用人員、(3)人槽 の優先順位で判断して上記の範囲になるように調整してください。

特 徴	
流量調整機能	この浄化槽では、消毒槽を除くすべての槽上部に流量調整部を設け、沈殿槽に設けた定量移送装置により、消毒槽へ一定量の処理水を移送し、放流させます。
嫌気ろ床槽	各室ともに下向流であり、第1室は骨格様球状ろ材、第2室は網様円筒状ろ材が充填されている。
接触ばっ気槽	定期的に自動逆洗されるようタイマーがセットされている。
循環エアリフトポンプ	接触ばっ気槽の混合水を嫌気ろ床槽第1室に常時循環することで脱窒の安定化を図る。
ブロウ	大小2台使用。大のブロウは、電磁弁を介して散気用と逆洗用。小のブロウは、循環、放流エアリフト用。

作 業 時 の ポ イ ン ト	
保守点検	
①循環、放流エアリフトポンプ移送水量を上記の水量になるようバルブ開度、せき高を調整してください。エアリフト管内の洗浄はバルブを全開にしてエアー洗浄してください。	
②接触ばっ気槽の槽内水の性状および攪拌状況を確認してください。ばっ気を停止し生物膜の付着状況を確認してください。生物膜が肥厚化あるいは極端に少ない場合は、ばっ気風量もしくは自動逆洗の設定の変更を検討してください。	
③タイマーの手動ボタン(青)を長押しして手動逆洗を行ってください。気泡の均一な上昇と剥離汚泥の状況を確認してください。併せてタイマーの現在時刻、曜日の確認も行ってください。	
清掃	
①嫌気ろ床槽第1室は、全量引き抜いてください。第2室は適正量としてください。その他の単位装置は必要に応じて実施してください。	